

東シベリアー日本間のブルーアンモニアバリューチェーン事業化調査フェーズ2を開始

2021 年 7 月 7 日

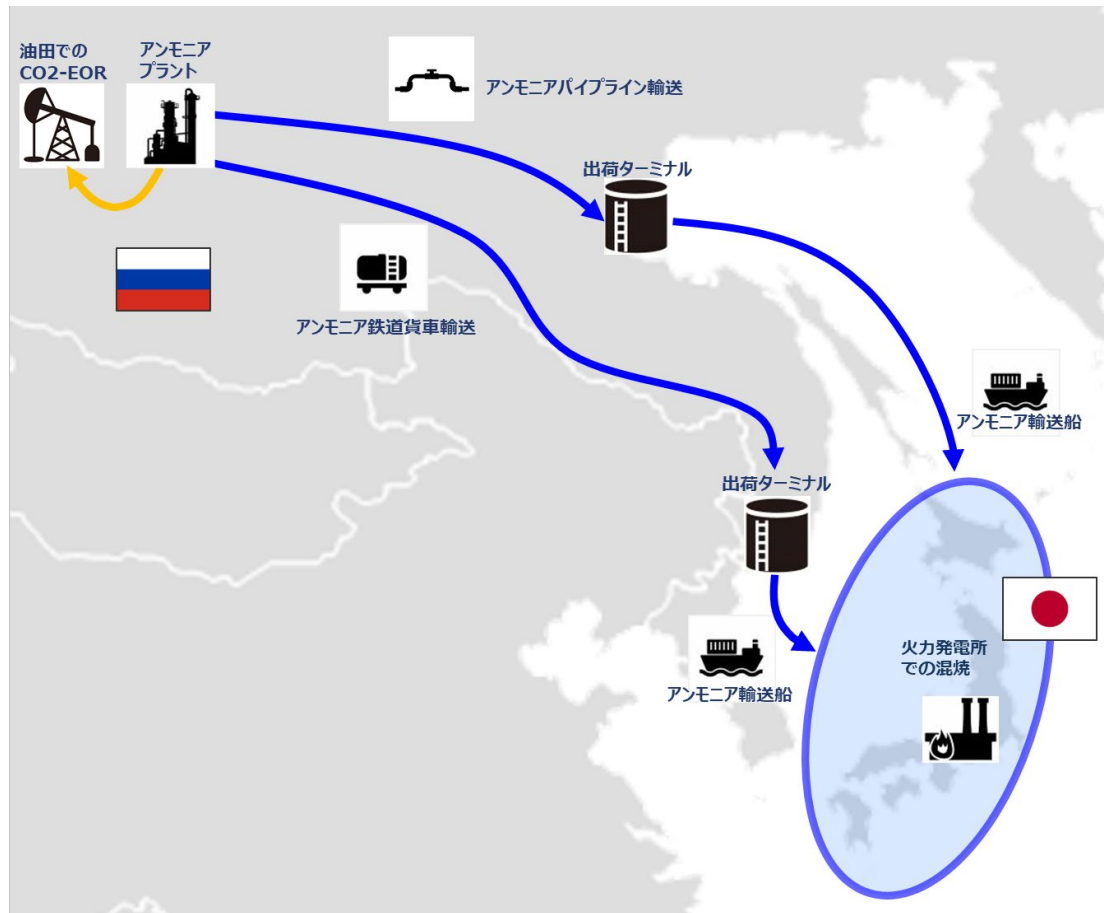
東洋エンジニアリング株式会社

東洋エンジニアリング株式会社(TOYO、取締役社長 永松治夫)は、イルクーツク石油会社(IOC)、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)、伊藤忠商事株式会社(伊藤忠商事)の3者と共同で、東シベリアと日本間のブルーアンモニアバリューチェーン構築に向けて 2020 年度実施のフェーズ1に続きフェーズ2として事業化に向けた詳細検討を実施することを合意しました。TOYOと伊藤忠商事はフェーズ1同様 JOGMEC の委託調査として実施し、東シベリアで IOC が産出する天然ガスをアンモニアに変換し、日本へ輸送するバリューチェーンのマスタープランを構築します。

フェーズ2では、東シベリアから日本への大規模なブルーアンモニアバリューチェーンの事業化に向けて、IOC の東シベリアの油田で産出される天然ガスから水素、さらにはアンモニアを製造するための概念設計を行います。この概念設計では、生産過程で排出する CO₂ を同社が東シベリアに保有する油田増産のための CO₂-EOR を組み合わせることを想定しています。またアンモニア内陸輸送については鉄道とパイプラインの適用を検討します。これらについて、事業化の時間軸を踏まえた段階的なアプローチを立案します。

TOYO は 80 件以上のアンモニアプラント建設実績を有し、石油・ガス生産設備のコンサルティング、エンジニアリング、建設、EOR 等の設備計画に取り組んできました。また、東シベリアを含むロシアでのビジネスにはおよそ 50 年の歴史を持っています。

4 者が保有する技術・知見を活かした連携により、東シベリアー日本間のブルーアンモニアバリューチェーンを確立し、火力発電所や船舶等の燃料分野の脱炭素化施策として有望視されるブルーアンモニアを日本やアジアに燃料として導入することで、温室効果ガス削減への取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



東シベリア-日本間のアンモニアバリューチェーン概要図

<お問い合わせ先>

広報・IR部 [担当: 飯田、福島] TEL: 047-454-1113